

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き ■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) バロー犬山店	階数	地上1F
建設地	愛知県犬山市宇野前45-28の一部	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定なし	平均居住人員	150 人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,460 時間/年
建物用途	物販店,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年10月13日
敷地面積	10,178 m ²	作成者	株式会社野山都市設計 早野 和智
建築面積	3,635 m ²	確認日	2017年10月16日
延床面積	3,461 m ²	確認者	株式会社野山都市設計 早野 和智

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.0		 標準計算 ①参照値: 100% ②建築物の取組み: 80% ③上記+②以外の: 80% ④上記+: 80%	 Q1 室内環境: Q1のスコア = 2.9 Q2 サービス性能: Q2のスコア = 3.0 Q3 室外環境(敷地内): Q3のスコア = 2.2 LR1 エネルギー: LR1のスコア = 3.4 LR2 資源・マテリアル: LR2のスコア = 3.2 LR3 敷地外環境: LR3のスコア = 3.2		
2-4 中項目の評価(バーチャート)					
Q 環境品質 Q1 室内環境 : Q1のスコア = 2.9 Q2 サービス性能 : Q2のスコア = 3.0 Q3 室外環境(敷地内) : Q3のスコア = 2.2 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー : LR1のスコア = 3.4 LR2 資源・マテリアル : LR2のスコア = 3.2 LR3 敷地外環境 : LR3のスコア = 3.2 					
3 重点項目 ①地球温暖化への配慮 : 3.8 ③敷地内の緑化 : 1.0 ②資源の有効活用 : 3.0 ④地域材の活用 : 1.0 					
各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。 ①地球温暖化への配慮 LR-3-1 地球温暖化への配慮 ②資源の有効活用 Q-2-2 耐用性・信頼性、Q-2-3 対応性・更新性 LR-2-2 非再生性資源の使用量削減 ③敷地内の緑化 G-3-1 生物環境の保全と創出					
外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・木・被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$ 建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$					



3 対応性・更新性			0.2	3.6	0.29		-	3.6
3.1 空間のゆとり				5.0	0.31			
1 隅高のゆとり				5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ				5.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			
1 空調配管の更新性				3.0	0.17			
2 給排水管の更新性				3.0	0.17			
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			
5 設備機器の更新性				3.0	0.22			
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			
G3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出	独自③				1.0	0.30		1.0
2 まちなみ・景観への配慮	独自④				3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	独自④				3.0	0.50		
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性					-			3.3
LR1 エネルギー					-	0.40		3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.89		4.1	0.30		4.1
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20		3.0
3 設備システムの高効率化			建築物省エネ法に則した計		3.8	0.30		3.8
4 効率的運用					2.5	0.20		2.5
集合住宅以外の評価					2.5	1.00		
4.1 モニタリング					3.0	0.50		
4.2 運用管理体制					2.0	0.50		
集合住宅の評価					-			
4.1 モニタリング					3.0	-		
4.2 運用管理体制					2.0	-		
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	3.2
1 水資源保護					3.0	0.15		3.0
1.1 節水					3.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67		
2 雜排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.63		3.1
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07		
2.2 既存建築躯体等の継続使用	独自②				3.0	0.25		
2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.21		
2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用					3.0	0.21		
2.5 持続可能な森林から産出された木材					-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	独自		鉄骨の乾式工法の為、分別が容易である		4.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22		3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			シックハウス対策もあり有害物質のないものを採用している		5.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68		
1 消火剤					-	-		
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.50		
3 冷媒					3.0	0.50		
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	①		ライフサイクルCO ₂ 概算値:80%		3.8	0.33		3.8
2 地域環境への配慮			燃焼設備は一切使用していない		3.0	0.33		3.0
2.1 大気汚染防止					5.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25		
1 雨水排水負荷低減	独自				3.0	0.25		
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25		
3 交通負荷抑制	独自		大規模小売店舗立地法により交通解析を行っている		5.0	0.25		
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25		
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33		3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		
1 騒音	独自				3.0	0.33		
2 振動	独自				3.0	0.33		
3 悪臭					3.0	0.33		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40		
1 風害の抑制					3.0	1.00		
2 砂塵の抑制					-	-		
3 日照阻害の抑制					-	-		
3.3 光害の抑制					3.0	0.20		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30		

重点項目スコアシート
(仮称) バロー大山店

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.5	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:4.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化
 重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{（評価点} \times \text{全体に対する重み})}{\text{重みの総和}}$
 重点項目スコア=

④地域材の活用
 重点項目スコア=評価ポイントの合計 + 1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称（仮称）バロー犬山店

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 計画敷地周辺は田園地帯、工場に面し 建物配置計画において幹線道路及び、周辺建物より可能な限り離隔をとり高さを抑えるなどして圧迫感を感じない様計画した。</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 売場は間仕切りの無い大空間の為、自由度が高い。</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 天井裏スペースがあり、設備の更新性が高い。</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 関係法規を遵守した設計としている。</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 熱負荷を抑制する為、天井裏に断熱(グラスウール)を採用している。</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建築基準法規制対象外となる建築材料を採用している。</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 関係法規を遵守した設計としている。</p>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>